

②8 大通寺



上大井地区にある曹洞宗宝持山
大通寺は、天文3（1534）年に
阿弥陀如来を本尊として開山され
ました。

その後、小田原市西大友の盛泰寺
第7世州翁梵益が開祖となり、更
に天正19（1591）年に大久保
忠世に背いて処刑された上大井村
の庄屋、左京助を偲んで子孫の太郎
兵衛が大通寺を再興したと伝えら
れています。

大正時代に本堂を建立されま
したが、関東大震災で倒壊し、25
世潜光英瀧が昭和12年に現本堂
を建立し今日に至っています。戦時
中は横浜市の大井小学校の女子児
童が約50名学童疎開をしました。
現在、本尊は、木造釈迦三尊像で
す。

宝徳松

天正18年（1590年）豊臣秀吉は小田原城を落とし
全国平定し、大久保忠世が小田原城主になりました。しか
し、年貢の取り立て等が従来に比べて大幅に厳しくなり、
このことにより上大井村庄屋の左京助は抗議し、現在の小田原
市下大井付近で磔の刑に
処されました。

土地の人はこれを記念して
松を植え、この松を宝徳松と
唱えて長く伝えました。

